

大規模地震発生時の初動時のへり等による 情報収集・情報共有体制の構築

(事務局:中部地方整備局)

大規模地震発生時の初動時のヘリ等による情報収集・情報共有体制構築

■検討の背景

南海トラフ地震等の大規模地震発生時は、**早期に広範な被災状況を正確に把握**することが、その後の体制を構築する上で極めて重要であり、東日本大震災において、広範囲の情報を素早く把握できる防災ヘリコプター等の活用の有用性が認識されたところである。

しかし、より素早く、効率的に広範囲の情報を把握するためには、防災ヘリコプター等を所有する**関係機関が連携し、情報収集・情報共有体制を構築**することが必要である。



◎ワーキング設立（平成26年10月28日）

関係機関が連携した大規模地震発生初動時（発災後概ね2-4時間以内）の情報収集・情報提供体制について検討を実施。

■構 成 員

◆構成員

- 中部管区警察局
- 第四管区海上保安本部
- 陸上自衛隊第10師団／○航空自衛隊中部航空方面隊／○航空自衛隊第1輸送航空隊
- 愛知県／○三重県／○名古屋市
- 愛知県警察本部／○三重県警察本部
- 中部地方整備局

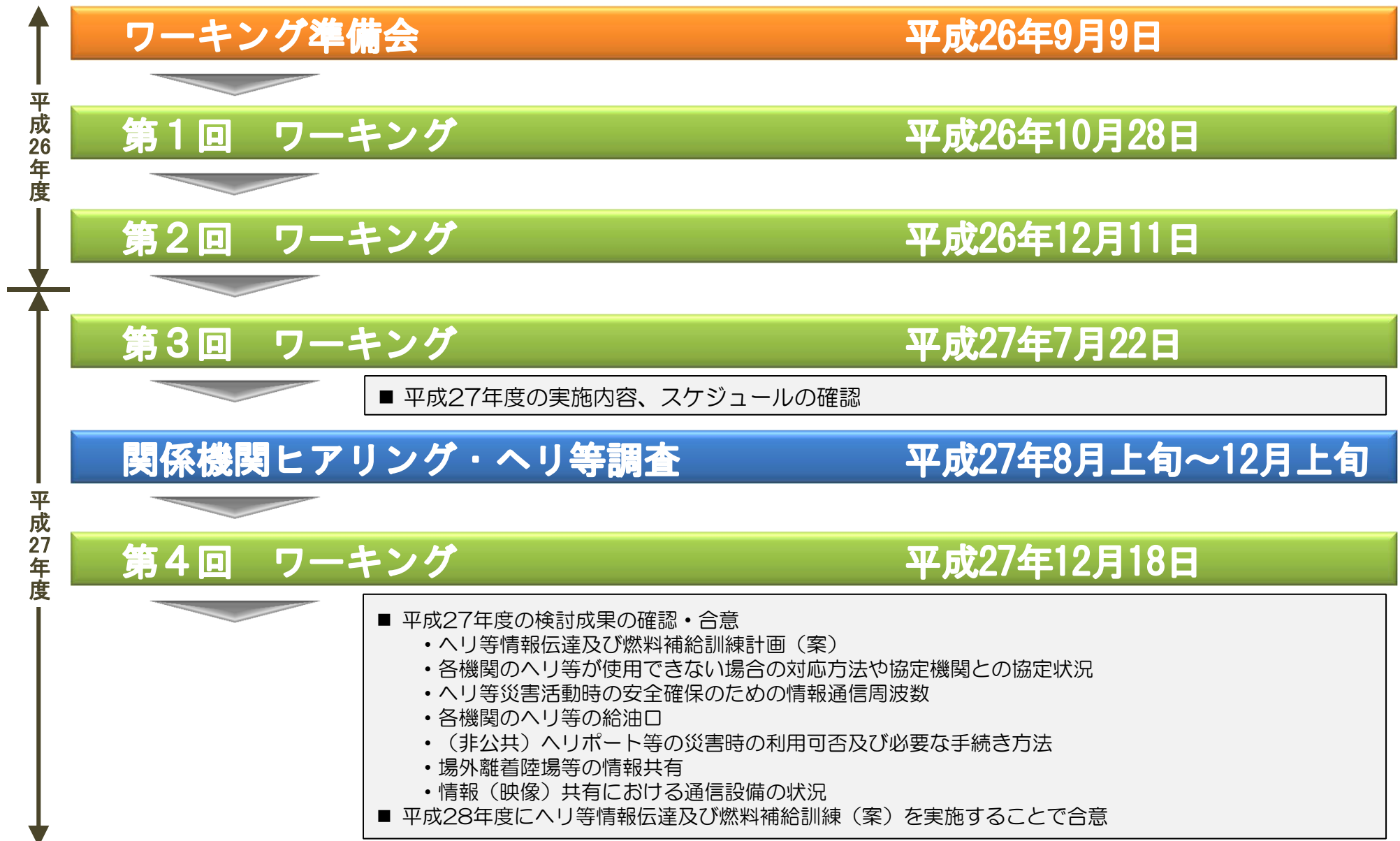
◆オブザーバー

- 大阪航空局中部空港事務所

※平成26年度および平成27年度は、中部管区警察、陸自10師団、第四管区海保の管轄エリアで被害が大きいと想定される愛知、三重県内の機関を対象。次年度以降、静岡県、岐阜県等に拡大予定。

大規模地震発生時の初動時のヘリ等による情報収集・情報共有体制構築

■ 検討経緯



大規模地震発生時の初動時のヘリ等による情報収集・情報共有体制構築

■平成26年度・平成27年度の検討内容

連携項目	成果目標	平成26年度(●)・平成27年度(●)	検討結果
①連絡体制の構築	✓ 災害時の関係機関連絡体系(活動状況把握、活動調整等に資する)の作成	<ul style="list-style-type: none"> ● 災害時連絡先一覧表の作成 ● 愛知県(災害対策本部)、三重県(災害対策本部)に関する情報共有 ※目的、所掌事務、調整事項、訓練内容等 ● 訓練計画作成 ※運用調整・初動の情報伝達訓練 	
②ヘリ等を使用できない場合の対応(耐空検査・夜間などの相互補完)	✓ 申し合わせ・協定等の合意	<ul style="list-style-type: none"> ● 各機関のヘリ等が使用できない場合の対応方法や協定機関(協定状況)を整理 ※各機関ともヘリ等が使用できない場合の対策は整備済み 	
③ヘリ等災害活動の安全確保(ヘリ等の位置情報共有等)	✓ ヘリ等位置情報の共有等	<ul style="list-style-type: none"> ● 中部圏重ね合わせ図(ヘリ等ver)の共有 ※管制圏、管制区、情報提供エリア、周波数 ● 航空自衛隊「災害発生時における航空集中時の情報提供要領」の情報共有 ● 情報通信周波数を設定 ※123.1MHz: セントレア・ターミナル管制空域外時、122.6MHz: ヘリ等相互通信時 ● 訓練計画作成 ※通信訓練 	
④燃料備蓄と共有体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 備蓄燃料の共有体制 ✓ 燃料供給業者の連絡体制 	<ul style="list-style-type: none"> ● 中部圏重ね合わせ図(ヘリ等ver)の共有 ※駐屯地等 ● 航空燃料の搬送流れ図の作成・共有 (名古屋飛行場、津市伊勢湾HP) ● 石油連盟との覚書推進 ● 給油口の確認・整理 ● 訓練計画作成 ※防災拠点等への着陸・給油訓練 	
⑤(非公共)ヘリポートの共用	✓ (非公共)ヘリポートの共用の合意	<ul style="list-style-type: none"> ● 中部圏重ね合わせ図(ヘリ等ver)の共有 ※飛行ルート、発着基地(常用、非常用)、非公共ヘリポート ● (非公共)ヘリポート等の災害時の利用可否および必要な手続きを整理 ● 場外離着陸場等の情報共有 	
⑥映像共有等の体制	✓ 既存の映像共有体制の拡大等	<ul style="list-style-type: none"> ● 通信設備の状況確認・共有及び条件整理 	

情報収集・情報共有体制が整い、今後は訓練を通じて検証していく

大規模地震発生時の初動時のヘリ等による情報収集・情報共有体制構築

■ヘリ等情報伝達及び燃料補給訓練（案）

平成28年11月下旬実施予定

【参加予定機関】

中部管区警察局／第四管区海上保安本部／陸上自衛隊第10師団／航空自衛隊中部航空方面隊・航空自衛隊航空救難団／航空自衛隊第1輸送航空隊／愛知県／三重県／名古屋市／愛知県警察本部／三重県警察本部／中部地方整備局

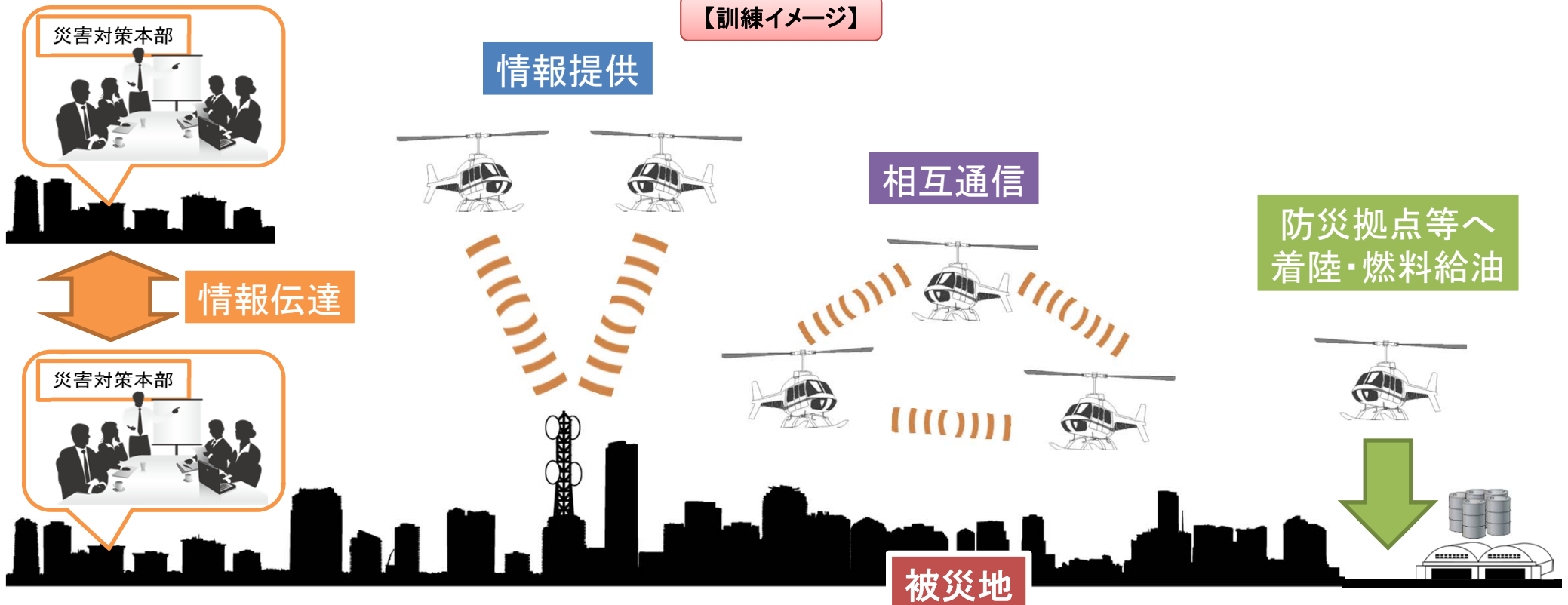
訓練の流れ

■ 運用調整・初動の情報伝達訓練

■ 東紀州空域における情報提供訓練

■ ヘリ相互の通信訓練

■ 防災拠点等への着陸・給油訓練



■今後の課題

- へり等情報伝達及び燃料補給訓練の実施
⇒ 平成28年11月下旬実施予定

- 情報共有の拡大
⇒ 映像を含めた情報共有方法の検討

- 静岡県・岐阜県への拡大